

# 「多様な人材で創る新たな農業・地域の未来」

石巻農業改良普及センター 令和3年度普及指導計画

**<石巻圏域の農業の概要>**  
○耕地面積は12,604haで水田率は87%  
○圏域の農家数は、4,938戸(29.8%減少)、このうち販売農家数は、3,657戸(30.9%減少)、農業就業人口の平均年齢は65歳(1.5歳高齢化)、2015年農林業センサス。  
○農業産出額は昭和60年の382億円が最大で平成30年には197億円に減少  
○水稲の作付面積は約7,610haでひとめぼれ、ササニシキ中心の良質米産地  
○畜産は、肉用牛(戸数181戸、頭数5,325頭)、鶏、豚が中心  
○県内第2位の園芸産地できゅうり、トマト、いちご、ねぎ、こねぎ等が中心。ガーベラは東北一の産地

**<大震災の被害と復興状況>**  
○津波被害の復旧対象面積約3,480haのうち令和3年3月末現在100%復旧  
○石巻圏域で、震災後から令和3年3月末現在までに新たに71の農業法人設立  
○農業産出額は平成23年149億円、平成24年175億円、平成25年166億円、平成26年156億円、平成27年165億円、平成28年183億円、平成29年194億円、平成30年197億円と推移  
○水稲の作付面積(平23)は7,355haで、令和2年は7,610ha(103%)  
○被災した園芸施設27.9haの中、交付金等の活用で平成29年3月まで100%復旧

**第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画(令和3年度～令和12年度)**  
共創力強化 ～多様な人材が豊かな未来をつくるみやぎの食と農～  
施策1 県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進  
施策2 生活様式の変化に対応する県産食品の販売力強化  
施策3 県民への安全・安心な食料の安定供給  
施策4 みやぎの農業を支える多様な人材の確保・育成  
施策5 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化  
施策6 基礎整備と集積・集約化による農地利用の高度化  
施策7 先進的大規模拠点と核とした園芸産地の確立  
施策8 水田フル活用による需要に応じた作物生産の振興  
施策9 生産基盤の拡大による畜産の競争力強化  
施策10 関係人口と共に創る活力ある農村  
施策11 地域資源を活用した多様ななりわいの創出  
施策12 環境と調和した持続可能な農業・農村づくり  
施策13 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化

## 石巻地域普及活動基本方針(令和3年度～令和7年度) 普及事業の取り組み課題

- 1 みやぎの農業を担う次世代の人材育成と革新技術の活用等による生産基盤の強化**  
(1)先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援  
①アグリビジネス経営体に向けて、食品関連企業との連携、販路の開拓、経営規模の拡大や経営の多角化等、新たな経営展開の取組を支援  
②人・農地プランで位置づけられた中心経営体への農地集積・集約化、地域の核となる担い手組織の育成及び集落営農組織の法人化など、市町等関係機関と連携して支援  
③認定農業者の確保・育成に向けて、経営の改善・発展に取り組む農業者の経営改善計画作成及び目標達成に向けた取組を支援  
④意欲ある農業者の経営の効率化や安定化、高度化等のため、宮城県農業経営相談所等の支援機関と連携し、法人化や経営分析、販売戦略、労務管理等の経営改善に向けた取組を支援  
⑤農業法人等における農業経営の円滑な継承を支援  
(2)新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援  
①認定新規就業者、就業希望者、新規参入者の確保及び定着に関する支援  
②農業経営に意欲的な女性農業者が能力を発揮できる環境の整備やネットワークの強化、多様な人材が働きやすい体制づくり等、経営規模の大小にかかわらず地域農業を支える意欲ある農業者の取組を支援  
③家族経営の安定や女性が主体的に取り組む農業経営の促進に向けて、営農方針、役割分担、報酬、休日等を取り決める家族経営協定の締結を支援  
④農業士や農業者研修教育施設、試験研究機関との連携により、先進的な農業技術に対応できる知識や技術の習得を支援  
⑤経営管理指導等による地域農業を牽引するリーダーとなる人材の育成・支援  
⑥多様な働き手の確保に向けて、雇用就業希望者と農業法人等のマッチングや農福連携の取組を支援  
⑦関係機関と連携した企業等の農業参入や参入企業の生産技術の定着等を支援  
(3)先進技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援  
①ICT等を活用した高度な環境制御技術の導入による生産性の高い施設園芸の確立を支援  
②土地利用型農業の効率化・高度化に向けたアグリテックの導入や効果的な活用、技術の定着を支援  
③搾乳ロボットなどICT等を用いた飼養管理の最適化等、効率的な畜産経営を支援  
④ICT等を活用する農業者や研究機関等との情報共有等、最新技術の情報収集と活用に向けたネットワーク活動の取組を支援  
⑤ドローン等の先端技術を活用した次世代型農業支援サービスの活用促進による省力化や経営改善に向けた支援  
⑥農業者等の有する知的財産の保全や活用を支援  
(4)園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援  
①高度な環境制御技術等の先端技術を導入した施設園芸における収量・品質の向上を支援  
②大区画ほ場を活用した加工・業務用野菜などの露地園芸に取り組む経営体の栽培技術定着と効率的な作業体系確立に向けた取組を支援  
③園芸サブプライチェーン構築による安定供給体制の強化と地域の特色を生かした園芸品目の需要に応じた生産拡大を支援  
④野菜指定産地等既存の園芸産地の維持・拡充による安定供給体制の強化を支援  
⑤多様なニーズに対応した伝統野菜や地域の特産野菜、花き、果樹等、特色ある園芸品目の生産拡大を支援  
(5)収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援  
①ほ場整備事業と連動した高収益作物の導入促進と生産体制の構築支援  
②水田フル活用に向けた省力・低コスト技術の導入・定着を支援  
③米の需給動向や実需者と結びついた米づくりの拡大に向けて、省力化技術の普及による生産コストの削減、作期分散、多収性品種に対応した栽培技術の確立等を支援  
④実需者が求める大豆・麦類の品種作付や、収量・品質の向上、省力化技術の導入による生産コストの削減を支援  
⑤畜産経営の規模拡大と収益力の強化、自給飼料生産基盤の有効活用を図るため、牧草、飼料用稲等で多収性が見込める奨励品種の普及拡大を支援
- 2 時代のニーズに対応した農畜産物の安定供給**  
(1)みやぎの食と農への理解促進と安全・安心な農畜産物生産の取組支援  
①消費者と農業者の交流等を通じた食と農に関する相互理解の推進や地産地消など、地域食料を活用した取組を支援  
②国際水準の農業生産工程管理(GAP)やトレーサビリティを導入する農業者の取組を支援  
③農業登録情報等の迅速で正確な提供による農業者等の適正使用の推進  
④農畜産物等における放射性物質のモニタリングと情報提供  
(2)多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援  
①食の外部化・簡便化に対応した、実需者が求める農畜産物の拡大に向けた技術指導及び産地形成を支援  
②質の高い農畜産物を求める実需者に対応できる農業者の育成を支援  
③安定供給に向けた地域間連携や一次加工業者、飲食店など実需者とのコーディネート等、食のバリューチェーンの構築に向けた取組を支援
- 3 多彩な「なりわい」の創出や多様な人材・機関との連携による持続可能な農業・農村の構築**  
(1)地域資源や地域の特色を活かした営農・所得確保等に向けた取組支援  
①農畜産物等の地域資源を活用した商品・サービスの開発による雇用の創出と所得確保を支援  
②地域資源の掘り起こしや、地域の特色を活かした新たな特産品づくり等を支援  
③食品加工業や飲食店等の民間との連携による地域活性化に向けた取組を支援  
④多様な地域資源を活用した農業体験や農泊などによる都市と農村の交流活動の促進と、農業・農村の魅力の発信を支援  
(2)関係機関等との連携強化と合意形成推進による地域農業の維持・発展支援  
①地域住民が主体となった課題解決への持続的な取組に向け「人・農地プラン」の実質化等、関係機関と連携し、地域農業の構造改革を進めるため、集落内の合意形成の取組を支援  
②地域の共同活動によって支えられている農業・農村の多面的機能の維持・発揮の取組を支援  
③地域ぐるみで行う野生鳥獣被害防止対策やICTを活用した捕獲技術等効率的な取組を支援  
④遊休農地(耕作放棄地)の有効利用に向けた支援  
(3)環境に配慮した持続可能な農業生産の取組支援  
①近年の異常気象や地球温暖化に対応するための品種・品目転換を含めた生産安定技術の導入、適切な病害虫防除体系の確立など、新たな営農システムの構築支援  
②総合的病害虫・雑草管理(IPM)技術等、環境に配慮した栽培管理体系の導入と定着支援  
③家畜排せつ物等の農業副産物を適切に堆肥化し土づくりに活かす耕畜連携農業の導入と定着支援  
④「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」等に取り組む農業者への技術支援  
⑤生物多様性の保全や有機農業に取り組む農業者への技術支援  
(4)大規模自然災害等からの復旧・復興に向けた支援  
①復旧農地における農作物の安定生産に向けた支援  
②自然災害等のリスクに備えるため、異常気象にも対応した品種や栽培技術の導入、農業用ハウスの保守管理の徹底、農業収入保険等の加入促進、事業継続計画(BCP)の普及など、災害に備えた取組と、早期営農再開に向けた支援  
③新型コロナウイルス感染症等新たな脅威に対応できる農業経営の継続に向けた支援  
④新しい生活様式に対応した生産・販売方式への転換に向けた支援

## 令和3年度 重点目標

1 地域農業を支える多様な人材の確保・育成

2 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化の支援

3 先進的園芸法人を核とした園芸振興

4 農村地域の振興に向けた取組支援

## 令和3年度プロジェクト課題 ※対象や期間を明確にして効率的、効果的に支援

**NO.1 被災農地における土づくりの推進による生産性の向上 「農地中間管理事業」、「アグリテック」関連課題**  
期間 令和2年度～令和3年度  
対象 (株)宮城リススタ大川、(農)みのり、(株)ゆいっこ  
内容 土づくりモデル実証ほ設置による効果検証支援  
地域内有機物供給・活用計画策定・活用体系構築支援  
水稲乾田直播栽培実証ほ設置による導入効果検証支援

**NO.2 組織力強化による農業法人の経営ステップアップ 「GAP」関連課題**  
期間 令和2年度～令和3年度  
対象 (株)めぐいと  
内容 社内体制・内規整備など支援  
ミニマ部門における作業標準化支援  
水田部門の強化支援

**NO.3 県育成品種「にこにこベリー」の収量安定化 「園芸振興」関連課題**  
期間 令和2年度～令和3年度  
対象 (株)いちごランド石巻、(株)トライベリーファーム、(株)イグナルファーム、(株)アグリ・パレット、(株)サンエイト  
内容 生育データに基づいた栽培支援  
環境データに基づいた養液、温度管理支援

**NO.4 地域活性化に向けた高収益作物(アスパラガス)の導入・定着**  
期間 令和2年度～令和4年度  
対象 アスパラガス研究会  
内容 安定生産技術に関する技術力向上  
販売先・単価確保のための販売力向上  
関係者間ネットワーク力向上

## 令和3年度 普及センター活動 (重点活動:4項目 + 一般活動:16項目)

- ☆重点的な普及センター活動**  
※ 政策の動きや関係機関からの要望等により、一層の対応が必要な課題
- 1 河北せりの生産振興と産地強化
  - 2 担い手育成支援機関等との連携による新規就業者の確保・育成
  - 3 地域のモデルとなる法人経営体の育成支援
  - 4 総合対策の実施に向けた野生鳥獣被害対策支援

- ◆普及センター活動**  
・農業者や地域のニーズに応じた、技術支援、経営改善、農村活性化、相談活動・プロジェクト課題への助走、終了課題対象のフォローアップ等
- 1 地域農業を担う経営体の育成
  - 2 農業後継者の確保と資質の向上
  - 3 青年農業者活動支援
  - 4 女性農業者の資質向上と活動支援
  - 5 農村資源を活かした地域活性化支援  
・観光地奥松島における果樹振興による農業と観光の再興
  - 6 農作物の野生鳥獣被害防止対策支援  
・関係機関との連携による野生鳥獣被害防止対策の推進
  - 7 売れる米づくりの推進  
・新品種「だて正夢」の普及推進、輸出米への取組支援
  - 8 高品質麦・大豆の安定生産
  - 9 優良麦・大豆種子生産の推進
  - 10 経営管理能力を持つ経営体の育成
  - 11 畜産の生産技術の向上
  - 12 安全・安心な農作物の生産支援
  - 13 野菜の安定生産支援
  - 14 花きの品質向上及び安定生産支援
  - 15 果樹の安定生産及び生産拡大支援
  - 16 競争力のあるアグリビジネス展開支援

**調査研究**  
・各普及指導員が地域の特性に応じて農業に関する高度な技術や知識を組み立てて実証し、成果を普及活動に活用



# 令和3年度 普及指導計画 プロジェクト課題マップ



## NO3 県育成品種「にこにこベリー」の 収量安定化 「園芸振興」関連課題

期間 令和2年度～令和3年度  
 対象 ①(株)いちごランド石巻  
 ②(株)トライベリーファーム  
 ③(株)イグナルファーム  
 ((株)アグリ・パレット, (株)サンエイト)  
 内容 ・生育データに基づいた栽培支援  
 ・環境データに基づいた養液, 温度管理支援

## NO2 組織力強化による農業法人の経営 ステップアップ 「GAP」関連課題

期間 令和2年度～令和3年度  
 対象 (株)めぐいと  
 内容 ・社内体制・内規整備など支援  
 ・ミニトマト部門における作業の標準化支援  
 ・水田部門の強化支援

## NO1 被災農地における土づくりの 推進による生産性の向上 「農地中間管理事業」, 「アグリテック」関連課題

期間 令和2年度～令和3年度  
 対象 ①(株)宮城リスタ大川  
 ②(農)みのり  
 ③(株)ゆいっこ  
 内容 ・土づくりモデル実証ほ設置による効果  
 検証支援  
 ・地域内有機物供給・活用計画策定・活用  
 体系構築支援  
 ・水稲乾田直播栽培実証ほ設置による導入  
 効果検証支援

## NO4 地域活性化に向けた高収益 作物(アスパラガス)の導入・定着

期間 令和2年度～令和4年度  
 対象 アスパラガス研究会(20経営体)  
 内容 ・安定生産技術に関する技術力向上  
 ・販売先確保, 単価向上に関する販売力  
 向上  
 ・関係者間のネットワーク力向上

## <重点的な普及センター活動>

- 1 河北せりの生産振興と産地強化
- 2 担い手育成支援機関等との連携による新規就農者の確保・育成
- 3 地域のモデルとなる法人経営体の育成支援
- 4 総合対策の実施に向けた野生鳥獣被害対策支援



凡例  
 ■ 浸水範囲

国土地理院  
 0 0.5 1 2 3 4 キロメートル